

◆平成13年度社会実験(東京都・渋谷地区)

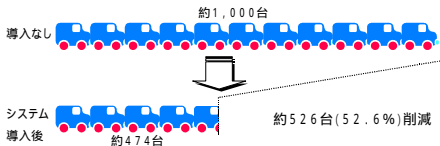
(実験内容)

利用者の車両サイズおよび駐車場選択の嗜好条件に応じ、目的地に最も近い空き駐車場を通信型カーナビを用いて案内・誘導するシステムを構築し、「実現可能性の確認」「社会的効果の把握」「今後の施策展開に向けた基礎資料の収集」を実施

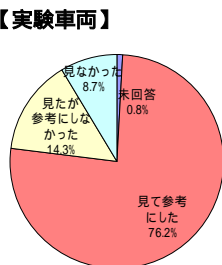
- ・実験期間:平成14年2月2日(土)～3月10日(日)までの期間
- ・対象範囲:渋谷駅周辺の東西約1.5km、南北約0.7kmの地区
- ・対象駐車場:45場(有人管理駐車場50場のうち9割)

(システム導入効果)

- ・情報をもて駐車場を利用する割合(参考率):76.2%
- ・実用化時に「利用する」と回答した割合:65.5%
- ・路上駐車削減効果(推計):約1,000台 導入後:約474台



【路上駐車台数の削減効果】
(実験結果に基づく推定値)



【情報の参考率】

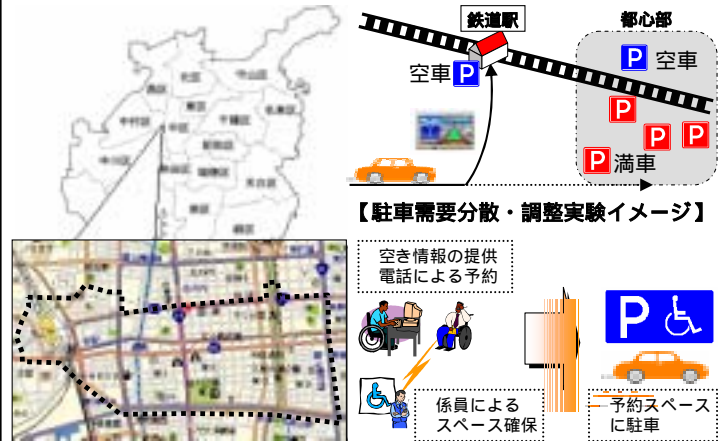
◆平成15年度社会実験(名古屋市)

(実験内容)

平成13年度社会実験を踏まえて、平成14年度に国土交通省にて策定中の「駐車場情報のデータベース標準(案)」に基づき、既設の駐車場案内システムを最大限活用して、利用者の嗜好条件や車両サイズに合った駐車場を満空情報と併せて通信型カーナビに提供するシステムを構築する。

構築したシステムで、都心部駐車場情報と併せ郊外部駅周辺のパーク&ライド駐車場情報を提供し駐車需要の分散・調整に関する実験と、身障者対応駐車スペースの情報提供と予約による交通弱者支援に関する実験を実施する。

- ・実験期間:平成16年2月(予定)
- ・対象地域:名古屋都心部(名駅・栄地区)
- ・対象駐車場:110場(約1.5万台分)



【実験対象範囲】

【交通弱者支援実験イメージ】